



第 16 号 平成 23 年 9 月 9 日

北越高等学校 1 学年便り

## 文理選択＝自分を知る絶好の機会

この秋、君たちは、これからの生きる方向を選ぶ重要な岐路に差しかかる。

「文理選択」だ。

えっ？ 生きる方向？ 2年の科目選択が文系か理系かって話じゃねえの？

と思う人は、ぜひ、この機会に考えを改めてほしい。

今回選ぶ道は、卒業後の進路にそのまま通じる道だ。

まだ高校生活を半年しか経ていない中で、将来に直結する道を選ぶというのは、確かに難しいだろう。だが、考えてみてくれ。約2年後に次のステップを歩み出す君は、素のままではどこにも行けない。踏み出す次の場所にふさわしい学力と適性を備えていなければ、受け入れてもらえないだろうし、進めたとしても何も得られないだろう。その次のステップへジャンプするために、少なくとも2年間の養成期間が必要だということだ。本当の力をつけるには時間が必要なのだ。すぐには結果の出ない地道な毎日の積み重ねが必要なのだ。だから「今」なんだ。

「自分が何に向いているのかわからない」「どういう職業に就くべきかわからない」

それは当然だろう。ただ、この「わからない」をいつまで引っ張っていいのか、と考えてみてほしい。

「わからない」のはいい。だが、「わからない」を「わからない」ままにしておいていいはずはない。だから、今回の文理選択という作業を通して、自分や社会を、よりリアルに、より深く知ってほしい。大いに迷っていいのだ。悩んでいいのだ。一番まずいのは、「わからない」から思考を停止することだ。選択するという厳しい作業を放棄して、単に苦手科目からの逃避に陥ることだ。

我々は、これから約2か月間、可能な限り、君たちの誠実な選択を応援していくつもりだ。資料の配布やオリエンテーションの実施、複数大学への訪問、個別面談等、一緒に考え、適切な援助をしていく。

今回の文理選択に、二つのキーワードを提示する。この2か月間、これを頭から離さないでほしい。

- |                |
|----------------|
| 1 自分を知る        |
| 2 社会（職業・大学）を知る |

来週、15日（木）に第1回目の進路選択ガイダンスを実施するが、それまでに各自「1 自分を知る」について、考えを深めてもらいたい。

まずは、次の資料で、自分の個性や特性を自己評価し、レーダーチャートにまとめてみよう。